

小橋かづ系 社会事業家。孤児救済事業営む(博愛社)社長と結婚、夫の死去後、継承発展させた。

こばしかずえ

三つの内乱・1876 = 和歌山県伊都郡見好村に生れる。山本伝右衛門・しまの次女。勝乃ともいう。

明治14年政変1881 = 5歳 :

内閣発足・・1885 = **9歳** :

帝国憲法発布1889 = 13歳 :

小学校高等科,

日清戦争始・1894 = **18歳** :

裁縫学校を卒業し、母校の小学校裁縫教師となる。このころ受洗。

子規句歌革新1898 = 22歳 : 大阪のプール女学校に入学、トリストラム校長の影響をうけて、社会事業に関心を持つ。

同校卒業後、母校で裁縫を教授。

林歌子の紹介で、博愛社社長小橋実之助を知り、

日比谷公園・1903 = **27歳** :

日露戦争始・1904 = 28歳 : 実之助と結婚。

日露戦争終・1905 = 29歳 :

博愛社は実之助の兄勝之助が私財を投じて創立した孤児救済事業で、勝之助の没後、実之助が社団法人化、大阪府西成郡神津村で歌子らの協力を得て孤児の養育にあっていた。かつえの花嫁衣装は自家手織木綿の紋付、嫁入道具は博愛社の子供たちの着物と袴76着、ふとん76人分、蚊帳11帳であった。孤児たちの母となったかつえは家庭的雰囲気を与えるために尽し、また尋常小学校を併設し、里子制度をとり入れた。

明治天皇没・1912 = **36歳** :

原敬首相暗殺1921 = **45歳** :

海軍軍縮条約1930 = **54歳** :

満州事変・・1931 = 55歳 :

国際連盟脱退1933 = 57歳 : *夫が死去すると、博愛社3代社長となり、社団法人から財団法人に組織変更、社長兼理事長となる。

二二六事件・1936 = 60歳 : *教会堂を完成させ、一階を隣保館として労働者に利用させ、小児保健相談所を開設して、当時の民間社会事業界の目をみはらせる。

日中戦争始・1937 = 61歳 : 軍人母子ホームを建設し、出征軍人遺家族の救済にあたる。

第二次大戦始1939 = **63歳** :

日米開戦・・1941 = 65歳 :

戦時中の困難期にも児童を守り抜き、

敗戦・・・1945 = 69歳 :

戦後は、戦火を免かれた博愛社の全施設をあげて戦災児の収容保護にあたった。

極東裁判決・1948 = **72歳** :

朝鮮戦争始・1950 = 74歳 : *社会福祉法人へ組織変更、

独立回復・・1951 = 75歳 :

メー-事件・1952 = 76歳 : 低額診療所の新設、

自衛隊発足・1954 = 78歳 : 虚弱児ホーム、

55年体制始・1955 = 79歳 : 幼児ホームの設置、

なべ底不況・1957 = **81歳** :

*さらに収容棟改築など、設備の充実と近代化への取り組みを行って、

東京初光ヶ 1964 = 88歳 : 没した。